かさかけ公民館だより

編　集
笠懸公民館報編集協力員会
みどり市笠懸公民館
発　行
みどり市笠懸公民館
〒379-2311
みどり市笠懸町阿左美1581-1
電　話：0277-76-2211
ＦＡＸ：0277-76-2836
Ｅメール：kouminkan
@city.midori.gunma.jp

住民とのつながりを考える ＤＸ時代を迎えて

▲住民がつながるためのデジタル技術活用を提案する講師の茂木勇さん

３月８日㈯、笠懸公民館交流ホールで「令和６年度公民館大会」が開催されました。

最初に『デジタル化で公民館の「つ・ま・む」はどうなる？』をテーマに基調講演がありました。講師は、昨年度に引き続き、群馬大学共同教育学部兼任講師の茂木勇さんです。

◇講演要旨

新型コロナ禍でデジタル化が急速に進行した結果、行政のあらゆる分野でＤＸが推進（公民館では、施設利用の予約システム、オンライン会議の開催など）されてきています。

一方で、ＤＸの推進により、将来的に利用者・職員とのFace to Face のコミュニケーションが減ってしまう可能性があります。

住民がつながるためにデジタル技術をどう活用したら良いでしょうか？デジタルが苦手な住民への対応、解決方法について模索していく必要があります。

講演後は、３つのグループに分かれ分散会が開かれました。講演の感想や公民館への想いなどこれからの公民館のありかたについて話し合いました。

▲みんなで考えよう、公民館の未来（分散会）

※「つ・ま・む」
公民館機能の「つどう」「まなぶ」「むすぶ」の頭文字。

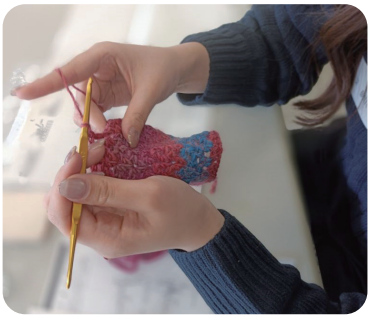
※ＤＸ
デジタルトランスフォーメンションの略。デジタル技術を活用して業務プロセスを根本から革新する取り組み。

公民館で編み物体験

2月は長い寒波で、からっ風が吹き荒れる日々が続きました。笠懸公民館では少しでも温まる企画をということで、2月の第1・3・4土曜の3回、はじめての編み物教室を開催しました。

講師は手編みサークル「笠懸あみあみクラブ」の皆さんです。比較的簡単なアームウォーマーの編み方を教えてもらいました。早い人なら2~3時間で片方を編み上げます。

▲ココはこうやって編むのよ



▲上手に編めるかなぁ??

あみあみクラブの皆さんはとても気さくで、全員がおしゃれなニットを着ています。全てご自身で編んだものだとか。鮮やかな色使いできれいなレリーフが入ったものなど、かなり手の込んだものばかりです。

東日本大震災の際には被災地に300点の作品を寄贈するなど活動。現在会員数6名で、少数精鋭のサークルです。

今回、教室に応募した人の中には全くの初心者もいましたが、3回の教室と自宅での予習復習で温かそうなアームウォーマー一組を仕上げていました。

地域の活気支える地区公民館活動

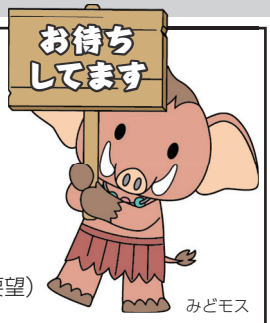
第4回みどり市笠懸町地区公民館連絡協議会全体会が2月20日㈭に笠懸公民館で開催され、令和6年度の活動を振り返りました。

今年度はすべての地区公民館で子ども八木節教室を開催でき、各地区の納涼祭を盛り上げる一助となりました。また、笠懸地域文化祭では恒例の模擬店・フランクフルト販売で参加。2日間で1200本以上売り上げるなど大変好評でした。

地区公民館活動は、地域の結束を強め、活気づけます。各地区公民館の館長・主事の皆さんのこの1年間の尽力に心から感謝します。

▲地区公民館の館長・主事の皆さんお疲れ様でした📷

令和7年度 笠懸地域文化祭 参加者募集!!



みどモス

開催日　令和7年　**10月25日(土)・26日(日)**

会　場　展示部門：笠懸公民館
イベント部門：笠懸公民館および屋外周辺
ステージ部門：グンエイホール PAL

参加資格　主に笠懸地域で活動している団体及び個人であり、実行委員を選出し、文化祭の運営に協力できること。
※実行委員は全3回の実行委員会に出席してください（要望）

申込方法　笠懸公民館にある申込書に必要事項を記入して、公民館窓口へ提出してください。
※複数の部門に参加する場合は、それぞれの部門に実行委員を選出してください。

申込しめきり　5月31日(土)（厳守）

その他　食品衛生法等の規定により、食べ物を扱う場合は1団体1品でお願いします。

主催・問合せ先　みどり市笠懸公民館　電話：0277-76-2211　FAX：0277-76-2836
メール：kouminkan@city.midori.gunma.jp

思い出いっぱい 文集づくり

「親子ふれあい教室」が2月26日㈬、笠懸公民館で開かれ、文集作りをしました。今回は都合で来られない親子も。

お母さん達は思い出が詰まった写真を切り取り、文集に貼り付けていました。

その間、子ども達は先生・公民館職員と一緒に積み木やすべり台、フラフープなどで元気に走り回り遊んでいました。

お母さん達に「この教室に参加してどうでしたか?」と聞くと「東京からみどり市に来て友達もできず、日中は子どもと2人きりで寂しかったけど、この教室に参加して本当に良かった」「子どもの成長と共にママ友もできて、楽しく過ごす事ができました」など笑顔いっぱいに話していました。

今日も根岸先生の優しい笑顔が、参加した親子の心を癒やします。

思い出たくさんの文集が出来上がるのが楽しみですね。

▲思い出📷を振り返る

音楽の宴 いこいの広場

2月16日㈰、笠懸公民館1階ロビーで「第130回いこいの広場」が開催されました。今回はカフェ・アンサンブルによるコンサートです。

多くの地域住民が集まったコンサートはフルートの演奏から始まり、SMAPの「世界に一つだけの花」や映画・千と千尋の神隠しの主題歌「いつも何度でも」など幅広いジャンルの楽曲が演奏されました。

他にも、クラシックギターで「花祭り」、ヘルマンハープ（ドイツ発祥の楽器）で「優しさに包まれたなら」などの音楽が奏でられました。

また、上野国勢多郡東村（現・みどり市）出身の石原和三郎が作詞した「上野唱歌」を抜粋して歌い、観客を楽しませました。

▲ひとときを音楽と共に

希望の灯り 生涯学習大会

第19回みどり市生涯学習大会が2月24日㈪、グンエイホールPAL（笠懸野文化ホール）で開催されました。

今年度のみどり市教育委員会表彰は、赤石基さん（笠懸中学校1年）と清水翔天さん（笠懸小学校教諭）の二人でした。その後、東地区の「エンジェルベル」がハンドベルで「上を向いて歩こう」など3曲を演奏。会場は拍手に包まれました。

後半は歌手の大島花子さんによる「うつくしい命」という演題の講演でした。

大島さんは40年前、飛行機事故で亡くなった歌手・坂本九さんの長女。父の「見上げてごらん夜の星を」でメジャーデビューして20年になります。

父はみんなで楽しめるよう手話に取り組んでいたと話し、手話による「あいさつ」や童謡「夕焼け小焼け」を会場の皆さんと一緒に歌いました。本当に伝えるべきものは心や気持ちですね。

また、「死別を経験した人に寄り添う『グリーフケア』に出会い、心の負担が和らぎました」「事故から今年で40年、今も悲しみを乗り越えていません」「辛いときは泣いてもいい、悲しみを抱いていてもいい。そう思うことで気持ちが楽になりました」など大島さんは話していました。

最後に「真っ暗な夜空に星が見える。辛いときだからこそ見える光、希望の灯りです」と伝え、父の名曲「見上げてごらん夜の星を」を歌い上げました。

▲大島花子さん

みどり市教育委員会表彰
（敬称略）

赤石基
「WRO2024Japan 決勝大会 in 富山」RoboMission ジュニア部門で1位

清水翔天
「ﾋﾟｱﾉ・ﾐｭｰｼﾞｯｸﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ2023 ﾌｧｲﾅﾙ」の一般部門で優秀賞（第2位）

華やかなギャラリー展示

写真の醍醐味 フォト銀河

2月14日㈮から16日㈰まで、笠懸公民館ふるさとギャラリーで「第25回フォト銀河写真展」が開催されました。

フォト銀河の会員だけでなく、写学倶楽部の会員も参加していました。

会場にはさまざまなジャンルの作品が所狭しと展示。紅葉で彩られた枝葉の隙間から差し込む陽光や、穏やかな湖面に反射し映し出される神秘的な風景など、どの作品もその場の空気感が伝わるものばかりでした。

フォト銀河・写学倶楽部ともに随時会員を募集しています。興味のある人は笠懸公民館までご連絡ください。

▲思わず見とれる作品

個性ゆたかな 書道作品展

第22回笠懸書道協会作品展（笠懸書道協会主催／代表・須田無涯）が2月8日㈯から11日㈫までの3日間、笠懸公民館ふるさとギャラリーで開催されました。

毎回見ごたえのある力作ぞろいです。出品者21名はそれぞれ個性的なスタイルで柔らかさ、力強さを表現していて、なかには「刻字」や「ロウ書」といった少し変わった技法のものもあり、「書く、彫る、彩る」という創作アート的なものも出展されていました。

▲笠懸書道協会のみなさん

ボッチャ大会 市民がつどう

第3回みどり市民ボッチャ大会が2月16日㈰、桐生大学グリーンアリーナ（みどり市民体育館）で開かれました。

48チーム（1チーム3～6人）、約200人の市民が参戦しました。

試合は12のリーグに分かれ進められました。会場では相手チームを労う声援や拍手なども飛び交い、市民の交流に一役買っていました。

防災を考える ㊿

防災庁の必要性

複合化・激甚化する災害に対し、防災庁の設置の議論が本格化しています。

自助・共助・協働と言った私達の防災意識も大切ですが、能登半島地震の被災地では8か月後に豪雨災害、東日本大震災の被災地の大船渡では大規模火災が発生。複合災害の被災地は他にもあり、複合災害への備えが十分できていないのが現状です。

緊急対応までは内閣府防災担当が担っていますが、復興支援において、道路は国土交通省、学校は文部科学省、医療機関は厚生労働省などと所管が分かれています。東日本大震災では復興庁が一元的に窓口を担いワンストップで対応しましたが、一般災害でもこうした対応が求められます。防災庁の設置に期待したいと思います。

【各コートの優勝チーム】

Aコート　大間々5区寿会
Bコート　15区生涯学習D
Cコート　チームヴェルデC
Dコート　3区ボッチャ同好会B
Eコート　3区ボッチャ同好会A
Fコート　大間々ボッチャクラブC
Gコート　チームヴェルデA
Hコート　15区生涯学習B
Iコート　ファイブスター
Jコート　15区生涯学習C
Kコート　桐生大学ボッチャクラブ
Lコート　阿左美ボッチャクラブD

文化で交流!!
桐生市・みどり市

桐生市・みどり市文化協会連合会主催の文化祭が、2月28日㈮から3月2日㈰まで開催されました。

このイベントは両市の文化交流と文化活動促進を目的としています。

展示部門の会場である笠懸公民館には華道、絵画、書道、写真、俳句、絵手紙、手芸作品など様々な分野の作品が並び、来場者の目を楽しませていました。

最終日の2日㈰、舞台部門がグンエイホールＰＡＬ（笠懸野文化ホール）を会場に開催。フラダンス、吹奏楽、和太鼓、コーラス、舞踊などが披露されました。

舞台部門終了後には、お楽しみ抽選会もあり、最後まで盛り上がりました。

▲迫力満点のステージ

▲みんなで準備（展示部門）

コラム豆電球

『碁石の黒石と白石の大きさは違う？』

囲碁は源氏物語にも登場する古い遊びだが、近年では将棋ブームから囲碁も人気となってきているようだ。

この囲碁の碁石である黒石白石の大きさが違うというのはなぜなのだろうか。

源氏物語に登場した頃から白石よりも黒石がひとまわり大きく作られたようだ。

人間の眼はとても複雑な器官だが、ときとして色や形に騙される。この目の錯覚によって、白黒の碁石を同じ大きさに作ると、黒石のほうが小さく見えてしまう。そこで、白石よりも黒石を若干大きく作り、同じ大きさに見えるようにしている。

サイズの基準もあり、黒石のほうが直径が〇・三ミリ大きく、厚みも〇・六ミリ厚い、当然碁石を入れる箱も黒石用のほうが深く作られている。

ちなみに、黒石は那智黒石で、白石は石とはいうが、ハマグリの貝殻で作られた物が高級品となるようだ。いずれにしても、古くから遊ぶ道具においても日本人の繊細さが垣間見えるようだ。これもモノづくりニッポンを支えてきた証のひとつなのかもしれない。

いつまでも元気に

令和６年度桐生大学・みどり市連携協力事業「若さの秘訣～元気に歩き続けるために～」の講演会が、２月28日㈮に桐生大学で開催されました。

講師は桐生大学短期大学部生活科学科の清野隼さんです。

まず、参加者に任意の組成測定を行い、その結果を確認しました。

ＢＭＩは肥満度を表す大切な指標で国際的に用いられる体格指数です。なお、65歳以上の高齢者はフレイル予防および生活習慣病の発症予防に配慮した数値になっているようです。

計算式

BMI（kg /㎡）＝体重÷身長²

目標値（kg /㎡）

50～64歳　20.0 ～ 24.9

65歳以上　21.5 ～ 24.9

現在の超高齢社会では栄養問題が課題となっているようで、30歳～60歳では生活習慣病予防のための過剰栄養対策、60歳～では介護予防のための低栄養対策が求められていると話します。

フレイル予防の３本柱として、適量のタンパク質を摂り、散歩や買い物等の外出、ボランティア活動や地域行事等社会参加するなど多様な人々と一緒に活動する場所が大切のようです。

タンパク質は身体のあらゆる原料です。日常的にウォーキングや水泳などのスポーツをしている高齢者の１日に必要なタンパク質は体重１kgあたり1・2～1・5gです。

また、サプリメントの上手な摂り方でＡＤＬ（日常生活動作）の低下を防ぎましょうと話を閉じました。

楽しい遊びが盛りだくさん

「2区公民館で遊ぼう」（第2区福祉部会主催）が2月16日㈰、笠懸町第2区公民館で開かれました。

7回目を迎えるこのイベントは、区民の多世代交流を目的に、福祉部会が中心となり各団体の役員の協力のもと開催。家族連れや子どもたちが輪投げやビンゴゲーム、囲碁・将棋、オセロ、健康麻雀、輪ゴム鉄砲などを楽しみました。

「むかしの遊び」コーナーではベーゴマ、メンコ、ビー玉、ちえの輪などを大人と子どもが一緒になって楽しんでいました。

グラウンドでは靴飛ばしや、新しいゲーム「モルック」に挑戦、育成会の綿あめ、ポップコーンも人気でした。過去最多の約180人が参加し、最後の抽選会まで大変盛り上がっていました。

▲わたあめおいしいな☺

おじゃましま～す　サークル紹介

今回お邪魔したのは『美と健康ウォーキング』です。

結成は2023(令和5)年で、カレン先生を講師に迎え『美しく健康に』をテーマに楽しく活動しています。正しい歩き方をマスターすることで身体のお悩みも解消！

講師はデューク更家ウォーキングスタイリストに入門。キャリアを積み、独立。独自のメソッドをプラスし、美容から健康まで幅広い内容で、サークルのみんなが元気で笑顔になれるよう、18人で活動しています。

▲美と健康ウォーキングのみなさん

募集は随時、一度見学に来ませんか？興味のある人は笠懸公民館までご連絡ください。

◇活動日

・月2回不定期(月末決定)

・17時30分～19時

こえのひろば

このコーナーは、市民のみなさんの交流の場です。サークルの会員募集やイベントのお知らせ、投稿など、何でも原稿をお寄せください。(しめきり毎月10日)

上毛かるたほ　御朱印レディー

誇る文豪　田山花袋

生まれ故郷の館林に田山花袋記念文学館があり、花袋の貴重な品々が展示されています。

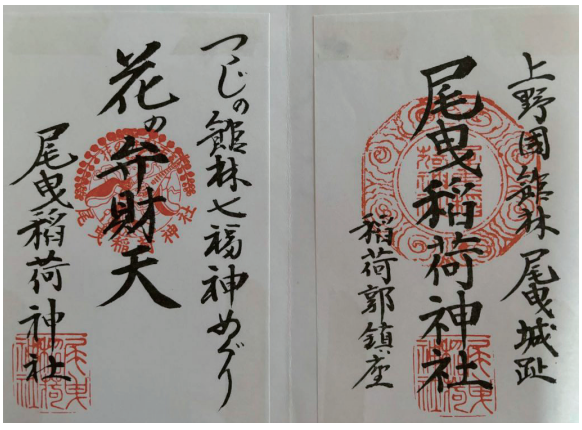
文豪としてたたえられた田山花袋は、島崎藤村らとともに日本の自然主義文学を確立しました。代表作品『蒲団』『田舎教師』『ふる郷』をはじめいくつかの作品につつじが岡（花山公園）が描かれています。

＊文豪…特に優れた文学者

＊自然主義…人間の美しいところだけではなく、醜い部分もつつみかくさず表そうとする考え方

花袋の育った家も当時のまま残され、近くには幼少期に遊んだとされている尾曳稲荷神社があります。

尾曳稲荷神社は、第105代後奈良天皇の御代の1532(天文元)年に尾曳城（後の館林城）城主・赤井照光が城の鬼門にあたる稲荷郭の地に守護神として創始されました。また、キツネの伝説と共に語り継がれる稲荷神社です。



▲尾曳稲荷神社の御朱印

みどり市スケッチ vol.14

「笠懸の歴史散歩」

萩　芳岳

笠懸地区に城があったと聞き、早速、笠懸村誌を調べ、中世の時代に鹿田山城と泉沢城があったと記されていました。そして、村誌を手掛かりに周辺を歩きました。

当時の城は権力を誇示するような城ではなく砦だったようです。

鹿田山城は、１３１０年（鎌倉時代末期）頃に築城されたようで、城跡を探しに鹿田山に向かいました。文献によると、八王子山（標高２３２ｍ）、御嶽山（標高２２９ｍ）、弥右衛門山（標高２３３ｍ）の山頂が砦となっています。

当時の痕跡は見当たりませんが、現在はフットパスの愛称で市民の憩いの場となっています。（フットパスとはイギリスが発祥で、歩くことを楽しむ道と言われています。）

さらに丘陵を北へ進むと建岩と道帰り山になります。ここも砦だったようで、建岩からの眺望は良く、大間々扇状地の扇頂がわかる地点です。僅かな扁平な地は道帰り山で標高２３５ｍ４等三角点があり点名「吹上」です。

清泉寺の境内に「泉沢城戦没者供養塔」がありました。紛れもなくここに泉沢城があったと思われます。新田義貞（１３０１?～１３３８年）や江田行義（?～?年）が活躍した時代ですね。そして、思いがけない出会いがありました。ヒトの背丈よりはるかに高い灯籠があり、その銘に「寛永９（１６３２）年7月24日、台徳院」とあります。

清泉寺の住職さんの話で、台徳院とは徳川２代将軍徳川秀忠（１５７９～１６３２年）のことだと知らされ、「えっ!?」と驚きを隠しきれませんでした。

まだまだ、未知のところが多い探訪でした。

▲泉沢城戦没者供養塔（清泉寺）

笠懸公民館 SNS 紹介

Instagram

@KASAKAKEKOUMINKAN

いいね👍してね🎶

YouTube

チャンネル登録してね

四季の会　三月句会

切り株に春陽のたまる里の山　中村冨喜女
春寒や米を求めて特売日　竹内　光春
春の宵聴きいるピアノ「満ちてゆく」　中野　千鶴
春浅し友の便りに無事祈る　泉　純佳
涅槃寺の門を潜れば僧の顔　川道ひさ女
古ひいな妹と語らふ幼なの日　国木美代香
梅東風や香りの中のふたり連れ　江原　大樹
春しぐれ濡れて棚経僧の行く　宇野　椿
春がすみ一時停止の田舎道　細川　由桂
桜咲きあなた好みの紅の色　江原　麗華
春ショール母の手作り肩にかけ　櫻本　千春
田舎酒ぐいと一杯花の下　細川　和勘
川辺にてひとり佇み風光る　佐藤由美香
遠きそら希望のせゆく春の鳥　江原　隆鍼
一望の赤城連山はる霞　髙野　春蝶
強東風や吾が身も揺れて木木もゆれ　中村　祐月
そよそよと風の音聴く涅槃西風　髙野　光詢
彼岸寺地蔵のおかけ取り換える　横倉　雅
一村は親戚だらけ春の墓　糸井　梅光
春めくや買い物ついで寄るランチ　前原　紫蘭
春の雪異国の人らはしやぐ杜　宇野　順雪
尻尾ふむ猫に睨まる春炬燵　椙沢　春蘭
売れ残る弁当買って春の夜　糸井　初音
花見弁当妻のメニューの売れてをり　小林　狐一
木の芽風小さき縁の遺跡山　石原　青蓮
ちらほらとしだれ桜の花ひらく　小林　華笑
ピンボケの夫の写真や春の宵　徳田　夕子
ひな祭り四人姉妹の昼御膳　新羅　光海
悠久の古墳を尋ぬ春の山　韓　百日紅
血圧の少し上がりて春の朝　宇野由希子
ガサガサと朽葉踏みしむ涅槃かな　牛房　敏秋
茶柱を飲み込む春の朝（あした）かな　宇野　勘大
転婆猫庭でバク転おぼろ月　金　光月

かさかけ　どうぶつ家族⑭

レンくん&ねねちゃん（7区）

10年前に先住犬が亡くなってすぐにレンくんはお家にやってきました。ママさんはもう犬をお迎えする気はなかったそうですが、息子さんたちの強い勧めもあって、生まれたばかりのレンくんをお迎えしました。

レンくんはとても性格の良い子で、どんな犬とでもひるむことなくすぐ仲良くなります。散歩中に会う大型犬の顔を舐めまくり、ついには口の中に頭を突っ込んでしまうほどフレンドリーなレンくん。

▲犬見知りのねねちゃん（左）
フレンドリーなレンくん（右）

パパさんは迎えるなら大型犬が良かったそうですが、レンくんがあまりにも性格が良かったので、1年後に妹（ねねちゃん）が生まれたと聞いて、すぐにお迎えしました。

ところがねねちゃんはレンくんと正反対でかなりの犬見知り。散歩中他の犬に会ってもすぐにママやパパの足元に隠れてしまいます。

そんなシャイな妹を兄のレンくんは甲斐甲斐しくサポートしてくれ、今年9歳のねねちゃんもようやく犬見知りしなくなってきました。でも、レンくんがいないとすぐにママの足元に隠れてしまうねねちゃんでした。

▲仲良し兄妹だワン

あなたも家族（ペット）を紹介しませんか!?

募集対象　犬･猫･小動物など、どんな種類の動物でもOK※品種や飼い主名等は掲載しません。

【留意点】
- 編集協力員による対面取材後に、紙面へ掲載します。
- 次号以降のお友達の家族（ペット）の紹介にご協力ください。
- 在住区域（行政区等）を掲載させていただきます。

【応募方法】
飼い主の氏名・連絡先・家族（ペット）の情報を電話またはメールで笠懸公民館までお伝えください。

0277（76）2211
kouminkan@city.midori.gunma.jp

QRコード

笠懸短歌サークル

二月例会より

インフルとコロナのワクチン接種せりを両腕に打ち痛み数日　上村　征子

仕事なかま得意の料理持ち寄って会話もはずむホームパーティー　加藤　康子

かくまでも総菜売り場のコロッケは小さく〳〵成りはてるのか　久保田茂子

地上三メートル高所作業機に着ぶくれて柿の剪定今日も進まず　関口　定夫

義兄の死を義兄の電話に知らさるる共々に逝きし姉の連れあひ　平山　勇

ちょっと一息

春の訪れとともに、暖かな日差しが心地よく感じられる季節となりました。

桜の花が咲き誇る中、卒業シーズンを迎え、子どもが新たな一歩を踏み出す姿に、思わず感動を覚えます。出会いと別れが交錯するこの時期、これまでの子どもとの思い出が走馬灯のようによみがえります。

と同時に・・・この時期は花粉症のシーズン本番!!少しでも快適に過ごすために、マスクや薬を活用しても、くしゃみや鼻水が止まらず、せっかくの我が子の卒業式を見届けることも一苦労でした。

春は新たなスタートの象徴でもあります。花粉症に負けず、心身ともにリフレッシュし、新しい季節を迎える準備を整えましょう。

皆様が素晴らしい春を迎えられることを願っています。

熱盛